

【人材の養成に関する目的】 ■法学部 成蹊大学法学部は、個人の権利及び社会と組織の円滑な活動を保障する法と政治の実現に寄与することを理念とし、法と政治に関する専門的な知識を与えるとともに、それを通じて社会科学的な思考力と合理的な判断力を持った国際感覚豊かな人材の養成を図る。		■法律学科 1 法体系の基本構造及び各法分野の主要な法規範に関する知識に基づき、現代社会の法的諸現象を批判的に考察する力を養成する。 2 個人の権利の保障に配慮しながら利害調整や紛争解決に寄与できるリーガルマインドとリーダーシップを養成する。	
【ディプロマ・ポリシー（DP）】 法学部では、カリキュラムの履修について懇切な指導をするとともに、それぞれの科目についてはレポート提出や定期試験等の総合的かつ厳正な評価に基づいて単位の修得を認めることによって、学部の人材育成方針にかなうよう卒業生の質の確保に努めている。このもとで法学部法律学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士（法学）の学位を授与します。			
【専門分野の知識・技能】 （DP1-1）法律学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 （DP1-2）法制度の構造と動態に関する深い知識に基づいて、社会の様々な問題を法的に分析し、その解決に向けて法を活用する力を身に付けている。		【表現力、発信力】 （DP4-1）自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 （DP4-2）自己の世界観、人生観を確立し、それに基づく自己の意見を、外に向けて発信できる豊かな表現力を身に付けている。	
【教養の修得】（広い視野での思考・判断） （DP2-1）人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 （DP2-2）人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関して、それぞれの分野の基本的な概念と基礎となる思考方法を理解し、人間社会の諸問題を多角的に把握するための論理的かつ総合的な思考力を身に付けている。		【多様な人々との協働】（コミュニケーション+協調性+チームワーク） （DP5-1）多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。 （DP5-2）多様な文化、環境、状況のもとで、多様な価値観を理解し他者を思いやり、他者の意思や感情を的確に理解して意思の疎通を行うコミュニケーション力（語学力を含む）と協調性を身に付けている。	
【課題の発見と解決】（情報の調査収集+分析・解釈+論理的思考） （DP3-1）課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 （DP3-2）社会の諸問題を理解するために必要な情報（日本語または英語で書かれた文献、統計等を含む）を調査収集し、本質的な課題を発見・解決するために、調査収集した情報を的確に分析する能力（語学力に裏打ちされた読解力を含む）を身に付けている。 （DP3-3）個人の権利の保障に配慮しながら、不断に変化している社会における多様な利害の調整や紛争の解決に臨機応変に寄与できるリーガルマインドとリーダーシップを身に付けている。		【自発性、積極性】 （DP6-1）選抜制の科目や学外活動（留学、インターンシップ、ボランティア等を含む）に積極的に挑戦した経験を通じて、生涯学び続けようとする強い自発的意志を有している。 （DP6-2）特別な教育プログラムや学外活動（留学、インターンシップ、ボランティア等を含む）に積極的に挑戦した経験を有し、生涯学び続けようとする強い自発的意志を有している。	
★選抜制の「LE科目」の履修生は、民法を集中的・発展的に学修することを通じて、法的な思考力を身に付けている。また、選抜制の「PSE科目」の履修生は、国際コミュニケーション力の養成に特化した科目の学修を通じて、問題の発見・探究力を身に付けている。			

※ 全学共通科目については、「全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
			第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
必修科目	基本科目	1-1 1-2	憲法Ⅰ④		憲法Ⅱ④ 憲法Ⅲ②					
	演習科目	1-1 1-2 3-1 3-3 5-1 5-2	刑法Ⅰ④	刑法Ⅱ④	刑事手続法④ 刑事政策④ 裁判外紛争解決手続②					
選択必修科目	基本科目	1-1 1-2	行政法Ⅰ④ 行政法Ⅱ④ 国際法Ⅰ④ 国際法Ⅱ④		環境法② 租税法②					
	演習科目	1-1 1-2 3-1 3-3 5-1 5-2	演習ⅠA② 演習ⅠB②	演習ⅡA② 演習ⅡB②	演習ⅢA② 演習ⅢB②	演習ⅣA② 演習ⅣB②				
基幹科目	応用科目	1-1 1-2	民法ⅠA② 民法ⅠB②		民法Ⅱ④ 民法Ⅲ④ 民法Ⅳ④ 家族法Ⅰ② 裁判法② 民事手続法Ⅰ④ 財政学④		家族法Ⅱ② 倒産法② 民事手続法Ⅱ④ 商法Ⅰ④ 商法Ⅱ② 商法Ⅲ② 商法Ⅳ② 経済法④ 知的財産法Ⅰ② 知的財産法Ⅱ② 知的財産法Ⅲ② 国際私法Ⅰ② 国際私法Ⅱ② 信託法② 消費者法② 金融法② 不動産登記法②			
			比較法Ⅰ②	現代法過程論④	労働法④ 比較法Ⅱ④ 比較法Ⅲ② 社会保障法② 地方自治法② 医事法②					
演習科目		（選択必修「演習科目」参照）	政治学原論④ 日本政治史④ 政治過程論④ 比較福祉政治④ 行政学④ 国際政治史④ 国際政治学④ 国際機構論④							

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
選択科目	LE科目	1-1 1-2 3-1 3-3 6-1 6-2 民法を集中的・発展的に学修することを通じて、法的な思考力の基礎を身につける。
	PSE科目	3-2 3-3 国際コミュニケーション力の養成に特化した科目の学修を通じて、問題の発見・探究力を身につける。
	法律発展	1-1 1-2 外国法や過去の法制度など、日本の現行法以外の法制度を研究することにより、日本の現行法をより客観的に理解する力を身につける。
	法律・特殊講義	1-1 1-2 特定の法的トピックを取り上げ、深く研究することにより、高い法的知識を身につける。
関連科目	法律コンデンスト	2-1 2-2 憲法、民法などの学修内容を凝縮（コンデンス）した科目を通して、法的知識をより確かなものとする（公務員試験など各種試験に備える際や、法律学科以外の学生が法学のエッセンスを修得しようとする際に適した科目である）。
	政治	2-1 2-2 現代社会で法律と密接不可分である政治学の基礎的・発展的な科目及び経済学の基礎的な科目の学修を通じて、社会科学的な思考力及び合理的な判断力を身につける。
	経済	
	教養科目	2-1 2-2 政治学の学修に密接に関連し、複数の外国語とそれを支える文化を学ぶことで、幅広い教養と国際感覚を身につける。
	PSE基礎科目	2-1 2-2 PSE科目の導入として、専門を異にする複数の教員によるクロスオーバー演習などを通じて教養の幅を広げる。
	EAGLE科目	2-1 2-2 高い英語力を備え国際的な活動に関心のある学生を対象とした全学的なグローバル教育プログラム（EAGLE）の科目であり、グローバル市民として国際性と学際性の高い知見と教養、ビジネスや実社会で求められる主体性及び実践的なスキルを養う。
	広域基礎科目	2-1 2-2 日本史・外国史・地理学・地誌・政治学など、主として中学・高校の教員をめざす学生に必要な教科の素養を養う。

1年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム

★通常の学生の場合の履修方法

LE I ②

★LEコース生の場合の履修方法

LE I ②

2年次 配当科目・単位数	
第3ターム	第4ターム

LE II ②

LE II ②

(注)「LE (Legal Expert) 科目」は、選抜に合格した学生及び一般の学生の中から許可された者のみ履修することができる科目群である。

PSE IA ②

PSE IB ②

(注)「PSE (Political Science Expert) 科目」は、選抜に合格した学生のみ履修することができる科目群である。

3年次 配当科目・単位数	
第5ターム	第6ターム

LE III ②

LE III ②

PSE III A ②

PSE III B ②

4年次 配当科目・単位数	
第7ターム	第8ターム

LE IV ②

LE IV ②

PSE IV A ②

PSE IV B ②

外国法研究 I ② 外国法研究 II ②

西洋法制史 I ② 西洋法制史 II ② 日本法制史 I ② 日本法制史 II ②

外国法研究 III ④ 外国法研究 IV ④

公法特殊講義 I ② 民法特殊講義 I ② 刑事法特殊講義 I ②

公法特殊講義 II ② 民法特殊講義 II ② 刑事法特殊講義 II ②

公法特殊講義 III ② 民法特殊講義 III ② 刑事法特殊講義 III ②

コンデンスト憲法 ④

コンデンスト民法 I ②

コンデンスト行政法 I ② コンデンスト民法 II ②

コンデンスト行政法 II ② コンデンスト民法 III ②

現代日本の行政 ② 政治思想の基礎 ② 比較政治経済 ② 現代の国際関係 ②

現代東アジア政治論 ② 現代ヨーロッパ政治論 ②

西洋政治思想史 ④ 政治心理学 ④ アメリカ政治外交論 ④ 西洋政治史 ④ 東洋政治史 ④ 東南アジア政治社会論 ④ 政治とジェンダー ④ 現代政治理論 ④

中国政治外交論 ④ EU政治論 ④ 平和研究 ④ 政治学特殊講義 I ② 政治学特殊講義 II ②

ラテンアメリカ政治社会論 ④ オセアニア政治社会論 ④ 中東政治社会論 ④ 日本政治思想史 ④

文化の政治学 ④ 地方自治論 ④ メディアと政治 ④ 政治学特殊講義 III ② 政治学特殊講義 IV ②

国際経済 I ② 国際経済 II ② 経済発展 I ② 経済発展 II ② ミクロ経済学基礎 ② マクロ経済学基礎 ②

近代日本経済史 ② 現代日本経済史 ② 経済史総論 I ② 経済史総論 II ②

社会科学と論理 ④ 健康政策論 ②

教養演習入門 ②

文化演習 (英語圏) I ② 文化演習 (英語圏) II ② 文化演習 (英語圏) III ② 文化演習 (英語圏) IV ②

文化演習 (ドイツ語圏) I ② 文化演習 (ドイツ語圏) II ② 文化演習 (ドイツ語圏) III ② 文化演習 (ドイツ語圏) IV ②

文化演習 (フランス語圏) I ② 文化演習 (フランス語圏) II ② 文化演習 (フランス語圏) III ② 文化演習 (フランス語圏) IV ②

文化演習 (中国語圏) I ② 文化演習 (中国語圏) II ② 文化演習 (中国語圏) III ② 文化演習 (中国語圏) IV ②

PSE IA ② PSE IB ②

International Business ② Japanese Economy ② Current Topics in Business and Economics ②

International Relations ② Regional Studies ② Current Topics in Global Issues ②

Japanese Contemporary Issues ② Japanese Traditional Culture ② Current Topics in World Affairs ②

日本史概論 I ② 日本史概論 II ② 世界史概論 I ② 世界史概論 II ② 人文地理学 ② 自然地理学 ② 地誌学 ② 現代の政治学 ②